



医療法人社団 英明会

大西脳神経外科病院 広報誌

O's news

オーズニュース

12

2014

第119号

2014年12月1日発行

〒674-0064 兵庫県明石市大久保町江井島1661-1 TEL:078-938-1238/FAX:078-938-1236 mail info@onc.akashi.hyogo.jp

地域医療連携室 TEL:078-938-1288/FAX:078-938-0399 <http://www.onc.akashi.hyogo.jp/>



お気軽にご相談ください。

大西脳神経外科病院には 脊椎・脊髄外来があります。

[診察日] 毎週 月曜日・火曜日 午後

詳しくは4頁の外来担当医表でご確認ください。

[担当医師]



副院長
久我 純弘
脳神経外科専門医
脳卒中専門医
日本脊髄外科認定医



脳神経外科部長兼
放射線科部長
林 真人
脳神経外科専門医



肩こり、手足のしびれ・痛み

副院長 久我 純弘

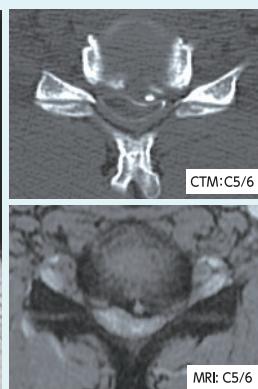
年齢と共に多くの人が、肩こり、手足のしびれや痛み、腰痛を生じてきます。原因は骨、関節、筋肉の炎症ばかりではなく、脊椎、脊髄の病気が原因のことが多く見られます。

後頭部から首のうしろにかけての突っ張り感、首から肩のこり、痛みなど、いわゆる「肩こり」ですが、頭の病気が心配で当院を受診される患者さんが多いわけですが、実際には頸椎症、頸椎椎間板ヘルニア、頸椎後縦靭帯骨化症のことが非常に多くみられます。また、脊髄障害が出現すると、実際には手に問題はないのにボタンがうまく掛けられない、字が下手になった、箸がうまく使えない、小銭がうまくつまめない、などのいわゆる巧緻運動障害が出現します。更に、手・腕などのしびれ・痛み、力が入りにくいだけでなく、足のしびれやよくつまずいて歩きにくい、歩くのが遅くなったり、

階段の上がり下がりがしにくくなったりします。進行すると歩けなくなってしまいます。診断にはMRIが痛

頸椎椎間板ヘルニア(C5/6)
頸部痛、左手指のしびれ、脱力

術前



MRI:側面

MRI: C5/6

みもなく簡便で有用です。軽症の場合は薬物治療や理学療法を行いますが、脊髄・神経への圧迫が高度の場合は外科的治療も必要になってきます。手術方法は、大きく分けて首の前方から行う手術と後方から行う手術があります。いずれの場合も安全のために手術用顕微鏡を使用し、脊髄・神経に対し愛護的に行います。術後は頸椎カラーをしばらく装着しますが、重症でない場合は通常約2週間で自宅に退院となります。

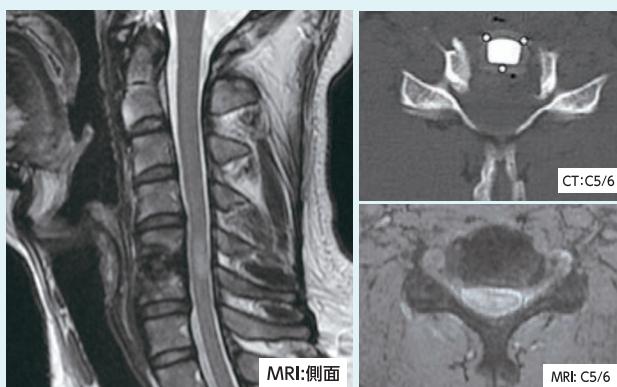
頸椎前方徐圧術: 首の前方に横切開を行い、突出した椎間板や骨棘を直接除去し、脊髄や神経根への圧迫を取り除きます。主に1、2椎間の病変の時に行います。横切開なので手術創がほとんど目立たず、術後の痛みも少ないです。筋肉や骨を損傷しませんので極めて低侵襲の手術です。

頸椎後方徐圧術(頸椎椎弓形成術): 首の後方に縦切開を行い、椎弓を切除あるいはセラミックスペーサーを用いて形成することにより脊髄の通り道である脊柱管を広げ、脊髄の圧迫を取り除きます。主に3椎間以上の多椎間病変の時に行います。

術後MRI, CT

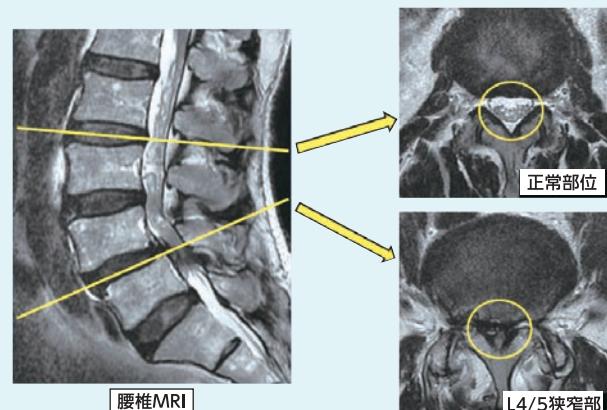
(PEEKケージとセラミックによる前方除圧固定)

術後



次に、手の症状はなく腰痛、足のしびれ・痛みが主である場合は、腰椎の病気も考えられます。若い人では腰椎椎間板ヘルニアが原因となることが多くみられます。一方、加齢と共に腰部脊柱管狭窄症といわれる病態が多くなってきます。この場合、しばらく歩くと脚が痛くなったり、しびれ、力が入らなくなったりしますが、少ししゃがんで休むと回復する間欠性跛行が特徴的です。この場合もMRIが診

腰部脊柱管狭窄症(L4/5)

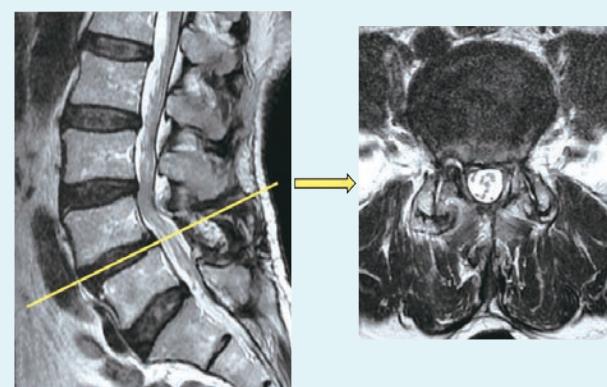


断には有用です。治療については、まず理学療法、薬物療法などの保存的治療を行いますが、改善しない場合は外科的治療を行います。



腰部脊柱管狭窄症の原因はいろいろありますが、不安定性がない場合には、後方から椎弓を切除し、脊柱管を広げる徐圧術を行います。徐圧操作は頸椎の手術と同様、顕微鏡を用いて神経に対し愛護的に行います。安全で低侵襲な手術を心がけています。通常、入院期間は約2週間程度ですが、術後しばらくの間は腰部コルセットを装着していただきます。

腰部脊柱管狭窄症(L4/5)



大西脳神経外科病院の理念

生命を尊厳し、科学の心と芸術的技術と人間愛をもって病める人々に奉仕する。

大西脳神経外科病院の基本方針

1. 生命と人権を尊厳した医療を実践する。
2. 神経疾患の専門的高度医療を実践する。
3. 常に新しい医学の修得に励む。
4. 救急医療は医療の原点と考え、24時間対応する。
5. 地域の医療機関との連携を密にし、地域協力型の医療を志向する。

患者さまの権利と責務

1. ご病気になられた場合は、私どもとの良好な信頼関係のもと、平等・公平に当院における最高の医療をお受けいただく権利があります。
2. ご病気に関しては、わかりやすく納得いく説明を受け、治療をお受けいただく権利があります。
3. ご自身の診療記録については、開示を求める権利があります。適当と判断できれば、ご本人、あるいはご家族に診療記録を開示いたします。
4. また、その診療情報が他人に漏れないように求める権利もあります。
5. 治療方針については、第三者の意見を聞くことができる権利があります。その場合、私どもは、必要とされる医療情報の全てを提供いたします。
6. 私どもが、上記のことを達成し、良質で安全、効率的な医療をご提供するために、患者さまには、次のことをお守りいただきますようお願いいたします。
 - ①ご自身の健康に対する正しい情報の提供と、医療への積極的な参加
 - ②他の患者さまの診療に支障をきたさないためのご協力



Ohnishi Neurological Center

外来担当医表

	月	火	水	木	金
1診	午前 大西	塙本	久我	林	兒玉
	午後 塙本	大西	久我	林	兒玉
2診	午前 高橋	高倉	山田	高村	福留
	午後 高橋	高倉	山田	高村	福留
3診	午前 担当医	辻	角田	担当医	担当医
	午後 担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
5診	午前 担当医(第1・3丸山)	担当医	担当医	岡本	前岡
	午後 担当医(第1・3丸山)	辻	角田	担当医	担当医
6診	午前 —	—	脳血管内治療外来 大西(宏)	塙本	—
	午後 脊椎・脊髄外来 久我	脊椎・脊髄外来 林	担当医	—	<13:00~> 麻酔科 鈴木
7診	午前 神経内科 立花	—	—	内科 竜門	神経内科 上田
	午後 神経内科 立花	—	—	内科 竜門	—
脳ドック		塙本	塙本	久我	塙本
					兒玉

※診察受付時間:月～金 <午前>8:30～11:30 <午後>13:30～16:30 (H26.12)

連携協力医療機関のご紹介 (No.68)

永田医院 院長 永田 利謙

診療科目:内科・小児科・糖尿病外来

住所:神戸市西区持子 2-117

電話:078-928-8555

	診療時間	月	火	水	木	金	土
小児科	午前(9:00～12:00)	○	○	○	○	○	○
	午後(16:00～19:00)	○	○	○	/	○	/
糖尿病外来	午前(9:00～12:00)	○	○	/	検査	検査	検査
	午後(16:00～19:00)	検査	○	/	/	○	/

※糖尿病外来は予約制

永田院長からのメッセージ

糖尿病外来の予約を承っています。

また生活習慣病を含め、動脈硬化の予防に努めています。



連携協力医療機関のご紹介 (No.69)

みつだ整形外科・リウマチ科

院長 光田 昌弘

診療科目:整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科

住所:明石市西明石南町 2 丁目 2-5

電話:078-921-5551

	診療時間	月	火	水	木	金	土
	午前(9:00～12:30)	○	○	○	○	○	○
	午後(16:00～19:00)	○	○	/	○	○	/

光田院長からのメッセージ

運動器疾患を中心として、関節リウマチ・骨粗鬆症などの治療を行っています。安心して気軽に受診していただければ幸いです。



他院にも掛っておられる方は、**お薬手帳や血液検査データ、紹介状などもご持参ください。**
紹介状がある方も保険証は必要です。必ずご持参ください。

JR大久保駅～山陽電鉄江井ヶ島間で無料送迎バスを運行しています。受診予約はかかりつけの診療所からしていただけます。
 詳しくは地域医療連携室まで。駐車料金は1時間毎に100円です。外来患者様にはサービス券をお渡します。

